

■ **組織は良くも悪くも、**

上の思うように動いていく

修正： 2023.05.01

投稿： 2023.05.01



● **組織は良くも悪くも、上の思うように動いていく①**

どっちが上とか下とかはありませんが、
会社には「**管理職**」と「**専門職**」があります。

管理職というと上司と呼ばれる立場で、
管理職の方が上っぽい感じはしますが、
実際のところそんなことはありません。

意外と**上司の立場**でできることは少ないのです。
専門職であれば、自分の担当する職務の範囲で
自由に仕事できますが、管理職になると、
部下のわがままも聞いていかなければなりません。

それだけなら聞き流せばいいだけの話ですが、それに加えて、
部下一人一人に予算(ノルマ)を達成させる必要があります。

ゆえに、部下に対して、言いたくないことも
言っていかなければなりません。逆に、部下から
聞きたくない報告・相談をされれば、上司として
丁寧に聞いていかなければなりません。こうした
精神的な負担もあって、管理職の方が報酬は高めです。

一方、専門職であれば、自分の担当する作業に集中し、
高度なスキルを以て目標達成・問題解決していきます。
主に作業を行うことから、**職人氣質**の人が多いです。

…で、**職人同士はよく揉めます。**
やり方の違いや方向性の違いでよく揉めます。
本当によく揉めます。

部品の配置やデザインの細部などなど、
別にどっちでもいいんじゃないのか、
という些細なところで揉めます。

そして、その度その度に管理職が呼びつけられ、
仲裁に入らなければなりません。…で、
どちらかの味方をしようものなら、

怒りの矛先は管理職に向けられるわけで、
下手すると後で嫌がらせをされかねません。

そういうこともあって、管理職は
わがままを言えない立場であり、見かけによらず
窮屈な思いをさせられるものです。

(続)

//=====//

●組織は良くも悪くも、上の思うように動いていく②

人の中には、
「自分よりも上の人に噛み付く人」と、
「自分よりも下の人に強く当たる人」が
います。上に噛み付く人は下に優しく、
下に強く当たる人は上に忠実な傾向があります。

この違いは**性格**によるものです。例えば、
管理する・されることを好む人は、
上に忠実で、下に厳しくしがちです。はたまた、

立場が上の人に対して積極的に媚を売るような人は、
自分が上の立場に立ったときは下から崇められたい
と思うわけで、下に対して尊大な態度を取ります。

そうやって鍛えられたのだから、そうすることが
正しいとすら考えます。まさか自分よりも下の人間に
自由が必要などとは、思いもしません。

対して、自由に挑戦することが好きな人は、
上司に噛み付きがちです。しかし、上には反抗的ですが、
下には割と寛容で、自由に振る舞えるように配慮します。

「管理、管理、指示、指示では成長しない。

自ら考え、自ら動くことが大切だ！」と、

ある程度の自由を認め、失敗や成功を体験させようとしています。

しかし、損益が大きく損なわれるリスクまでは考慮しません。

こうしたことから、性格の相性によって、

「上司としてやりやすい人」と、

「部下としてやりやすい人」に

分かれていきます。上司としてやりやすいからといって、

部下としてもやりやすいとは限らず、その逆もしかりです。

下から見たら立派に見える人でも、

上から見たらボロだらけで、

役員から低く評価されている管理職もいます。

かつ、ある人からすればやりやすい人でも、

別の人からするとやりにくい人にもなります。

上から見るか、下から見るか、誰が見るかで、

人の評価は大きく変わるものなのです。

(続)

//=====//

●組織は良くも悪くも、上の思うように動いていく③

日本が戦争(特に太平洋戦争)していた頃、

「**お国のため**」として、全国民が戦争に協力していました。

国の言いなりになることは立派なことであり、
むしろ国の言うことを聞かない人は非国民、ということで、
国民が率先して政府の敵を罰していたものです。…。

今では、政府を批判することは当たり前のことで、
政府を批判しただけで国民からリンチを受ける、
などということはもちろんあり得ません。

それが当たり前だと思っている人が多いですが、
もし政府が、政府を批判した人を罰する法律を作ってしまうと、
政府を批判した国民を罰するよう、**国民が積極的に**動きます。

「**そんなバカな!**」と思うかもしれませんが、実際そうでした。
そしてこれは、会社や学校でも起こっていることです。

例えば、社長が決めたとんでもないルールでも、
一旦、社内ルールとして社員が受け入れてしまえば、
それは守って当たり前のルールとなります。

もしそのルールを守らない人がいようものなら、

**「俺はこんなにも苦しい思いをして
ルールを守っているというのに、
お前ときたらなんだ!」**と、

みんなでイジめるようになります。人は、
自分よりも楽しんでいる奴が許せないのです。

いつの日か、コロナで自粛が求められていたとき、
みんな我慢しているにも関わらず外出していた人を、
国民(俗に**自粛警察**)が罰していました。

政府の対応を批判するよりも、
自分の周りで自分よりも苦しんでいない人がいる状況は、
自分にとっては我慢できません。それが人間です。

組織は良い方へも悪い方へも動くものです。お上の言い付け
を守って自分が苦しい思いをしたなら、周囲の人にも
同様に苦しい思いをすることを求めてしまうからです。

(完)

//=====//

Web サイト :

データアクションサービス —データからアクションを起こす—

著者 :

時無 和考(Tokinashi Kazutaka)